

目次

CONTENTS

なぜ、英語がしゃべれない？ 3

第1章

英語の基本構造は、S + V + O (+ α) 9

- 1 「覚える」英語学習の限界..... 10
- 2 英米人とリラックスした会話を楽しむには..... 16
- 3 SVO感覚はなぜ重要か..... 18
- 4 主語と述語のカベ..... 21

第2章

日本語の文構造別に見た、英語のS (=主語) の選定 25

- 1 AはBだ..... 26
- 2 AがBだ..... 29
- 3 AはBがCだ..... 35
- 4 AならBだ..... 40

第3章

英語のV (動詞) の選定 49

- 1 be動詞を使うことは忘れる..... 50
- 2 動詞は、動作動詞を用いる..... 64
- 3 動詞を言うときには、他動詞を用いる..... 67
- 4 むやみやたらと受け身 (=受動態) を使わない..... 69
 - [1] 機械的に、能動態⇔受動態の間を行き来するな..... 69
 - [2] 受動態では使えない動詞・ふつうは使わない動詞..... 71

- [3] 受動態はby～なしが主流..... 75
- [4] 受動態でby～つきで用いる場合..... 78

第4章

英語の時制を正しく使う 81

- 1 日本語の「～する」は、英語では動詞の現在形になるのか?..... 82
- 2 日本語の「～した」は、英語では動詞の過去形になるのか?..... 87
- 3 英語の未来形はwillだけなのだろうか?..... 97
 - [1] will + 動詞原形..... 98
 - [2] am/is/are going to + 動詞原形 (= be going to の構文) 98
 - [3] am/is/are + ~ing (=現在進行形)..... 99
 - [4] 現在形..... 99
 - [5] am/is/are expected [scheduled] to + 動詞原形..... 100
 - [6] intend(s) to + 動詞原形..... 100
 - [7] am/is/are to + 動詞原形 (= be to 構文) 100

第5章

一般論を英語で言う 103

- 1 一般論の言い方..... 104
- 2 一般論を言うときには冠詞と、名詞の単・複数形とに意識を向ける..... 109

第6章

丁寧な物言い 113

- 1 好意的助言の言い方..... 114
- 2 丁寧な依頼の言い方..... 122

[3] 受動態はby～なしが主流	75
[4] 受動態でby～つきで用いる場合	78

第4章

英語の時制を正しく使う 81

1 日本語の「～する」は、英語では動詞の現在形になるのか?	82
2 日本語の「～した」は、英語では動詞の過去形になるのか?	87
3 英語の未来形はwillだけなのだろうか?	97
[1] will + 動詞原形	98
[2] am/is/are going to + 動詞原形 (= be going toの構文)	98
[3] am/is/are + ~ing (=現在進行形)	99
[4] 現在形	99
[5] am/is/are expected [scheduled] to + 動詞原形	100
[6] intend(s) to + 動詞原形	100
[7] am/is/are to + 動詞原形 (= be to 構文)	100

第5章

一般論を英語で言う 103

1 一般論の言い方	104
2 一般論を言うときには冠詞と、名詞の単・複数形とに意識を向ける	109

第6章

丁寧な物言い 113

1 好意的助言の言い方	114
2 丁寧な依頼の言い方	122

3 丁寧な許可願いの言い方	130
4 NOの言い方	136
5 推量の言い方	141
6 丁寧な誘いの言い方	153
7 謝罪・ごめんの言い方	157

第7章

SVO 対 SVC再考 165

1 Apple is Aomori. (???)	166
2 日本語とは、ひどくゆるい言語	174

第8章

英会話がうまくなるための、その他の留意点 183

1 日本語をだんだん忘れる努力をする	184
[1] 語句のレベルで日本語を排除する	185
[2] 文のレベルで日本語を排除する	188
[3] 複数の文を続けて言うさいに注意すること	190
2 英会話への集中力を維持するためには	192
[1] セルフチェック機能をオフにせよ	192
[2] 発言のさいの省エネを考えよ	193
[3] スタイルの違いを意識せよ	195

あとがき 198